

Coca-Cola West

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社



株主・投資家のみなさまへ

第50期 事業報告書

平成19年1月1日から平成19年12月31日まで
証券コード: 2579

株主・投資家のみなさまへ.....	01
経営統合を活かした取り組み.....	03
主な営業の取り組み.....	04
トピックス.....	05
地域社会貢献活動／環境推進活動.....	06
連結財務諸表.....	07
会社情報.....	11
株式の状況.....	13
株主メモ.....	14

株主・投資家のみなさまへ

株主・投資家のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。第50期(平成19年12月期)の業績をはじめ、当社グループの方針や戦略をご報告させていただきます。

第50期(平成19年12月期)の経営概況と業績

当期における清涼飲料業界は、暖冬や梅雨明け後の記録的猛暑など天候にも恵まれ、市場はプラス成長となりましたが、原材料・原油等の高騰など厳しい環境の中、清涼飲料各社間の販売競争は熾烈さを増しております。

当社グループはこのような厳しい経営環境の中で、すべての価値基準を「お客さま基点」として、常に競争を上回る価値を提供し続け、10年、20年、30年と成長・発展し続けるべく策定した、中期経営計画「*Wing*」の達成に向け、グループ一丸となって種々の活動に取り組みました。

その結果、当期における連結の売上高は4,095億2千1百万円(前年同期比24.9%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は160億5千6百万円(同比30.3%増)、経常利益は174億9千3百万円(同比32.3%増)ならびに当期純利益は93億7千5百万円(同比23.8%増)となりました。

当期の取り組み

営業面につきましては、積極的な新商品の導入やキャンペーンの実施により、基幹ブランドである「コカ・コーラ」「ジョージア」「爽健美茶」「アクエリアス」の徹底強化をはかりました。中でも、世界No.1のブランド価値を有する「コカ・コーラ」につきましては、世界的に展開している「コカ・コーラ ゼロ」の投入など積極的なマーケティングを行い、コカ・コーラブランドトータルで売上げを大きく伸ばしました。

グループの組織・運営体制の見直しとしましては、製造を担当する、コカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社および近畿コカ・コーラプロダクツ株式会社は、両社が保有するノウハウを共有することにより、商品品質および生産性をより一層向上させることを目的として、平成20年1月1日に合併し、新会社コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社としてスタートしております。

また、営業エリアが隣接する南九州コカ・コーラボトリング株式会社と資本業務提携契約を締結し、平成19年4月3日付で同社を持分法適用の関連会社といたしました。この提携の効果を創出すべく、マーケティング、サプライチェーン

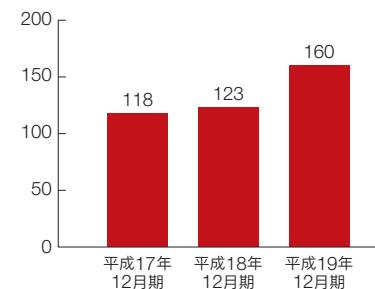
売上高

(単位:億円)



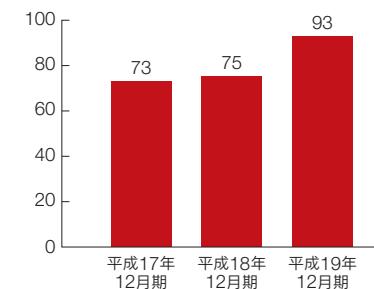
営業利益

(単位:億円)



当期純利益

(単位:億円)



および購買等各分野において協働の取り組みを推進しております。

CSR(社会的責任)推進活動といたしましては、新たなグループ経営体制のもと、すべてのステークホルダーとの信頼関係を構築すべく、コンプライアンス、品質保証、リスク管理におけるグループ統一の原則・ルールを策定するとともに、各々の推進体制を整備いたしました。

今後の取り組み

今後の見通しにつきましては、株価低迷や原材料・原油等の高騰ならびに清涼飲料各社の生き残りをかけた競争の激化など、当社グループを取り巻く経営環境はさらに厳しくなることが見込まれます。

このような状況の中、当社グループは、ザ コカ・コーラカンパニーおよび日本コカ・コーラ株式会社との協働関係をさらに進化させ、お客さま基点の組織・運営体制をさらに充実させてまいります。なお、グループの組織・運営体制の見直しといたしましては、グループ内の販売機器メンテナンスサービス機能を統合し、生産性向上をはかってまいります。

また、変化の著しい経営環境の中で次世代においても成長し続けるために、マーケティング、ベンディングおよびサプライチェーン等各分野における先進的な戦略および組織体制を構築してまいります。

さらに、環境を中心としたCSR(社会的責任)経営をさらに推進し、あらゆるステークホルダーから信頼される企業づくりに全力を尽くしてまいります。

配当金について

平成19年12月期の期末配当金につきましては、株主のみなさまのご支援にお応えすべく、1株につき22円とし、中間配当金とあわせました年間配当金は、前年より1円増配の43円とさせていただきます。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



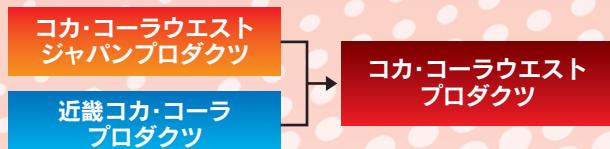
代表取締役 CEO

末吉 紀雄

経営統合を活かした取り組み

製造会社の合併

当社グループにおいて製造を担当していたコカ・コーラウエストジャパンプロダクツ株式会社と近畿コカ・コーラプロダクツ株式会社の2社は、平成20年1月1日付で合併し、新会社コカ・コーラウエストプロダクツ株式会社としてスタートいたしました。両社が保有するノウハウを共有することにより、商品品質および生産性のより一層の向上に取り組みます。



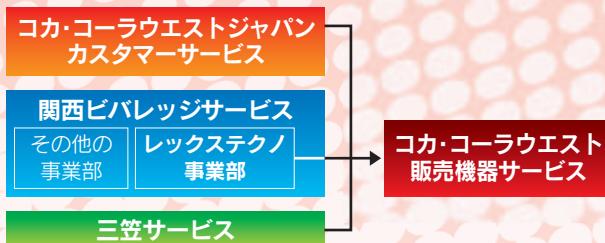
次世代へ向けた取り組み

変化する経営環境の中で次世代においても成長し続けるための先進的な営業販売体制を構築するため、マーケティング、ベンディングおよびサプライチェーン等各分野に関する次世代モデルプロジェクトを発足させ検討を進めています。



販売機器メンテナンスサービス子会社の統合

グループ内の自動販売機等の販売機器メンテナンスサービス機能を担うコカ・コーラウエストジャパカスタマーサービス株式会社、関西ビバレッジサービス株式会社、レックステクノ事業部および三笠サービス株式会社を統合し、平成20年4月1日より新会社コカ・コーラウエスト販売機器サービス株式会社とすることといたしました。これまで以上に販売機器メンテナンスのサービス水準を向上させるとともに、生産性も向上させてまいります。



大山工場ミネラルウォーター無菌充填設備新設

コカ・コーラウエスト大山プロダクツ株式会社の大山工場に、小型ペットボトルから大型ペットボトルまで製造可能な無菌充填設備を新設いたしました。これにより、市場成長の著しいミネラルウォーターの供給体制を強化し、お客さまのニーズにお応えしていきます。

新ラインで製造された
「アクアセラピー ミナクア」
500mlペットボトル



主な営業の取り組み

ベンディング

ベンディングチャンネルは、自動販売機を通じてお客さまに商品をお届けするマーケットを担当しています。

当期は、自動販売機での売上の6割を占める基幹ブランドに活動を集中した結果、自動販売機一台あたりの販売数量向上につながりました。また、IT自動販売機の拡大と有効活用なども行い、ベンディングチャンネル全体の販売数量を伸ばしました。

販売数量

(単位:千ケース)



チェーンストア

チェーンストアチャンネルは、スーパーマーケット、ディスカウントストアやホームセンターなどの手売りマーケットを担当しています。

当期は、500mlペットボトル商品を中心に小型容器の販売活動を強化するなど、利益も重視した売り方を進めました。また、最盛期における効果的なプロモーションの展開などに取り組んだ結果、利益を伴う販売数量の拡大を実現いたしました。

販売数量

(単位:千ケース)



トピックス

当期の主な新商品



当期の主なプロモーション



コカ・コーラ
「Coke + iTunes」



Qoo
「ひろみちお兄さんとQooのちゃんとおたべよう体操」



ジョージア
ジョージア秋季プロモーション

地域社会貢献活動／環境推進活動

株主のみなさまのご理解をいただき、剰余金から一定額を積み立てて活動資金に充当しております地域社会貢献活動および環境推進活動につきましては、当期より近畿・三笠エリアを含む2府12県に活動範囲を拡大しております。

地域社会貢献活動

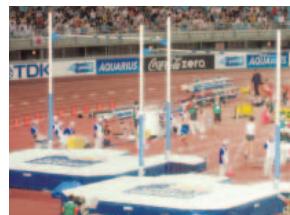
「地域とともに」を基本姿勢に、「社会福祉」「スポーツ活動」「文化・教育活動」「地域大型イベント」の4つの活動を柱に、地域社会に対する貢献活動を実施しております。

当期の主な活動は、例年実施している「特別支援学校への教材贈呈」「小学校への一輪車贈呈」「さわやかクラシックコンサート・さわやかファミリーミュージカルの開催」などに加え、大阪市で開催された「第11回IAAF世界陸上競技選手権 大阪大会2007」をオフィシャルスポンサーとしてサポートいたしました。

地域企業としての役割を認識し、今後も地域社会に対する貢献活動を継続して実施してまいります。



さわやかファミリーミュージカル



第11回IAAF世界陸上競技選手権
大阪大会2007

環境推進活動

「人も環境も、さわやかに。」をスローガンに、飲料ビジネスの未来を創造する企業として、地球環境保全を重要課題のひとつと認識して、持続可能な社会の実現に貢献しております。

当期の主な活動としては、循環型社会の実現をめざし、北九州市エコタウン内にある当社の空容器リサイクル施設に隣接する場所に廃棄自動販売機リサイクル施設を建設し、平成20年春、稼動を開始いたします。

さらに、水を大量に使用する企業として、佐賀県鳥栖市、鳥取県伯耆町に続き、製造工場近郊の京都府宇治田原町および滋賀県愛荘町の森林を「さわやか自然の森」と名付け、森林保全協定を締結しました。「さわやか自然の森」では、社員およびその家族、ステークホルダーのみなさまと枝打ちや遊歩道造成、しいたけ栽培などの水源涵養林保全活動を実施いたしました。

また、子どもたちを対象にした学校ビオトープづくり支援、学校植林支援などの環境教育支援活動も継続して行っております。



廃棄自動販売機リサイクル施設
(完成予想図)



社員の家族による森林保全活動
(とっとり さわやか自然の森)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第49期 (平成18年12月31日)	第50期 (平成19年12月31日)
〈資産の部〉		
流動資産：		
現金及び預金	16,311	19,567
受取手形及び売掛金	22,280	23,064
● 有価証券	10,668	19,407
たな卸資産	11,778	11,721
繰延税金資産	2,200	2,143
その他	15,031	15,420
貸倒引当金	△97	△103
流動資産合計	78,173	91,220
固定資産：		
有形固定資産：		
建物及び構築物	35,617	35,192
機械装置及び運搬具	20,134	20,181
販売機器	30,857	27,285
土地	57,366	56,709
建設仮勘定	56	672
その他	2,211	1,992
● 有形固定資産合計	146,243	142,033
無形固定資産：	5,730	4,719
投資その他の資産：		
● 投資有価証券	53,277	55,794
繰延税金資産	4,703	3,596
● 前払年金費用	10,406	12,732
その他	6,967	6,147
貸倒引当金	△594	△572
投資その他の資産合計	74,760	77,698
固定資産合計	226,734	224,452
資産合計	304,907	315,672

【有価証券】

有価証券は、前期末に比べ87億3千9百万円増加し、194億7百万円となりました。これは主として、営業活動で獲得した資金の短期的な運用によるものであります。

【有形固定資産合計】

より適正な費用配分方法を検討した結果、販売機器の減価償却の方法を従来の定率法から定額法へ変更しております。また、法人税法の改正に伴い、建物(建物附属設備を除く)以外の有形固定資産は、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

【投資有価証券】

投資有価証券は、前期末に比べ25億1千7百万円増加し、557億9千4百万円となりました。これは主として、南九州コカ・コーラボトリング株式会社へ出資(108億円)したことによるものであります。

【前払年金費用】

前払年金費用は、企業年金基金への拠出に伴い、前期末に比べ23億2千6百万円増加し、127億3千2百万円となりました。

(単位：百万円)

科 目	第 49 期 (平成 18 年 12 月 31 日)	第 50 期 (平成 19 年 12 月 31 日)
〈負債の部〉		
流動負債：		
支払手形及び買掛金	3,828	5,222
短期借入金	-	10,500
1年以内に返済する長期借入金	2,300	2,000
未払法人税等	2,674	3,270
未払金	13,866	13,638
設備支払手形	702	87
その他	7,059	7,380
流動負債合計	30,431	42,099
固定負債：		
長期借入金	2,000	-
繰延税金負債	11,122	9,040
退職給付引当金	4,770	5,180
役員退職引当金	249	65
負ののれん	1,867	1,452
その他	4,002	3,809
固定負債合計	24,012	19,548
負債合計	54,444	61,647
〈純資産の部〉		
株主資本：		
資本金	15,231	15,231
資本剰余金	109,072	109,074
利益剰余金	135,623	140,432
自己株式	△11,229	△11,271
株主資本合計	248,697	253,467
評価・換算差額等：		
その他有価証券評価差額金	1,604	488
繰延ヘッジ損益	106	4
評価・換算差額等合計	1,710	492
少数株主持分	54	64
純資産合計	250,463	254,025
負債純資産合計	304,907	315,672

●—【短期借入金】

南九州コカ・コーラボトリング株式会社の株式を取得するため、その資金調達手段として銀行借入(105億円)を行っております。

●—【長期借入金】

近畿コカ・コーラボトリング株式会社の借入金返済により、長期借入金はなくなりました。

●—【その他有価証券評価差額金】

保有株式の時価下落により、その他有価証券評価差額金は前期末に比べ11億1千5百万円減少し、4億8千8百万円となりました。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第49期 (平成18年12月期)	第50期 (平成19年12月期)
売上高	327,821	409,521
売上原価	186,265	234,313
売上総利益	141,556	175,208
販売費及び一般管理費	129,235	159,151
営業利益	12,321	16,056
営業外収益	1,836	2,433
営業外費用	932	996
経常利益	13,225	17,493
特別利益	1,569	671
特別損失	1,686	3,910
税金等調整前当期純利益	13,108	14,254
法人税等	5,627	4,866
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△89	12
当期純利益	7,570	9,375

【売上高】

平成18年7月1日付の近畿コカ・コーラボトリング株式会社との経営統合による規模(営業エリア等)の拡大に伴う増加および販売数量の増加などにより、売上高は前期に比べ816億9千9百万円増収(24.9%増)の4,095億2千1百万円となりました。

【営業利益】

営業利益は、平成18年7月1日付の近畿コカ・コーラボトリング株式会社との経営統合による規模(営業エリア等)の拡大に伴う増加および経費削減などにより、前期に比べ37億3千4百万円増益(30.3%増)の160億5千6百万円となりました。

【経常利益】

営業利益の増加を受け、経常利益は前期に比べ42億6千8百万円増益(32.3%増)の174億9千3百万円となりました。

【当期純利益】

当期純利益は前期に比べ18億4百万円増益(23.8%増)の、93億7千5百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第49期 (平成18年12月期)	第50期 (平成19年12月期)
● 営業活動によるキャッシュ・フロー	21,806	33,000
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,956	△23,306
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,244	3,586
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△2,394	13,280
現金及び現金同等物の期首残高	20,238	22,284
連結範囲の変更等による現金及び現金同等物の増加額	4,440	-
現金及び現金同等物の期末残高	22,284	35,564

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動によるキャッシュ・フローは、330億円のプラス(前期比51.3%増)となりました。平成18年7月1日付の近畿コカ・コーラボトリング株式会社との経営統合による規模(営業エリア等)の拡大に伴う増加などにより、前期に比べ111億9千3百万円増加しております。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動によるキャッシュ・フローは、233億6百万円のマイナス(前期比55.8%増)となりました。南九州コカ・コーラボトリング株式会社の株式を取得したことにより108億2千9百万円の支出が発生いたしました。これが主要因となり、前期に比べ83億4千9百万円支出が増加しております。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動によるキャッシュ・フローは、35億8千6百万円のプラスとなりました。南九州コカ・コーラボトリング株式会社の株式を取得するため、その資金調達手段として銀行借入(短期借入金105億円)を行いました。これが主要因となり、前期に比べ128億3千万円のプラスとなりました。

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

第50期 (平成19年12月期)	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
平成18年12月31日残高	15,231	109,072	135,623	△11,229	248,697	1,604	106	1,710	54	250,463
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	-	-	△4,566	-	△4,566	-	-	-	-	△4,566
当期純利益	-	-	9,375	-	9,375	-	-	-	-	9,375
自己株式の取得	-	-	-	△56	△56	-	-	-	-	△56
自己株式の処分	-	2	-	14	16	-	-	-	-	16
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	△1,115	△102	△1,218	9	△1,208
連結会計年度中の変動額合計	-	2	4,809	△41	4,769	△1,115	△102	△1,218	9	3,561
平成19年12月31日残高	15,231	109,074	140,432	△11,271	253,467	488	4	492	64	254,025

会社情報

会社概要 (平成19年12月31日現在)

商号	コカ・コーラウエストホールディングス株式会社
所在地 本店	福岡市東区箱崎七丁目9番66号
福岡本社	福岡市博多区住吉一丁目2番25号 キャナルシティ・ビジネスセンタービル
大阪本社	大阪市北区西天満四丁目15番10号 ニッセイ同和損保フェニックスタワー
設立	昭和35年12月20日
資本金	152億3千1百万円
連結従業員数	8,420名
主な事業内容	コカ・コーラ等清涼飲料水の製造・販売およびグループ会社の経営管理等
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 (市場第一部)
(所属部)	株式会社大阪証券取引所 (市場第一部) 証券会員制法人福岡証券取引所

取締役・監査役・経営諮問委員会 (平成20年4月1日現在)

取締役

代表取締役	末吉 紀雄	CEO
取締役	原田 忠継	コカ・コーラウエストジャパン(株) 代表取締役社長
取締役	吉松 民雄	近畿コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役社長
取締役	森田 聖	副社長執行役員シニアオフィサー
取締役	太田 茂樹	近畿コカ・コーラボトリング(株) 取締役 専務執行役員
取締役	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
取締役	マイケルクームス	日本コカ・コーラ(株) 代表取締役副社長
取締役	本坊 幸吉	南九州コカ・コーラボトリング(株) 代表取締役会長

監査役

常任監査役	新見 泰正	常勤
常任監査役	神田 博	常勤
監査役	三浦 善司	(株)リコー 取締役 専務執行役員
監査役	佐々木 克	(株)西日本シティ銀行 代表取締役副頭取
監査役	京兼 幸子	弁護士 京兼法律事務所 代表

経営諮問委員会

委員長	桜井 正光	(株)リコー 代表取締役 会長執行役員
委員	魚谷 雅彦	日本コカ・コーラ(株) 取締役会長
委員	松尾 新吾	九州電力(株) 代表取締役会長
委員	榎本 一彦	福岡地所(株) 代表取締役会長 ロイヤルホールディングス(株) 代表取締役会長
委員	埴 俊昭	三菱重工食品包装機械(株) 代表取締役社長
委員	石原 進	九州旅客鉄道(株) 代表取締役社長
委員	松崎 隆	弁護士 徳永・松崎・斉藤法律事務所 代表
委員	武藤 英二	(株)NTT データ経営研究所 取締役会長
委員	伊藤 邦雄	一橋大学 教授
委員	守都 正和	近畿コカ・コーラボトリング(株) 顧問
委員	マイケルクームス	日本コカ・コーラ(株) 代表取締役副社長

コカ・コーラウエストグループ会社一覧 (平成20年4月1日現在)

コカ・コーラウエストホールディングス

コカ・コーラウエストジャパンエリアグループ

コカ・コーラウエストジャパン

西日本ビバレッジ

コカ・コーラウエストジャパンセールス

近畿エリアグループ

近畿コカ・コーラボトリング

関西ビバレッジサービス

ネスコ

カディアック

三笠エリアグループ

三笠コカ・コーラボトリング

三笠ビバレッジサービス

販売機器サービス機能

コカ・コーラウエスト販売機器サービス

製造機能

コカ・コーラウエストプロダクツ

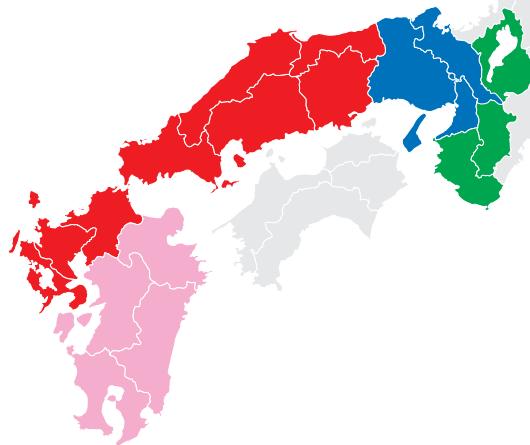
コカ・コーラウエスト大山プロダクツ

物流機能

コカ・コーラウエストロジスティクス

その他の関係会社

南九州コカ・コーラグループ



株式の状況

株式の状況 (平成19年12月31日現在)

発行可能株式総数	270,000千株
発行済株式の総数	111,125千株
株主数	21,466名

大株主

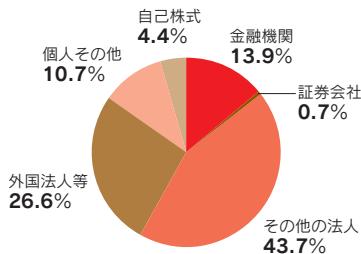
株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
株式会社リコー	16,792	15.9
キリンホールディングス株式会社	11,626	11.0
財団法人新技術開発財団	5,294	5.0
コカ・コーラホールディングズ・ウエストジャパン・インク	4,074	3.9
三菱重工食品包装機械株式会社	3,912	3.7
メロンバンク エヌエー トリーティー クライアント オムニバス	3,759	3.6
株式会社西日本シティ銀行	3,703	3.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,162	3.0
モルガン・スタンレーアンドカンパニーインク	2,944	2.8
シービーエヌワイ ユーエムビー ファンド	1,693	1.6

(注) 当社は、自己株式4,947千株を保有しておりますが、上記の表には記載せず、議決権比率の算定にも含めておりません。

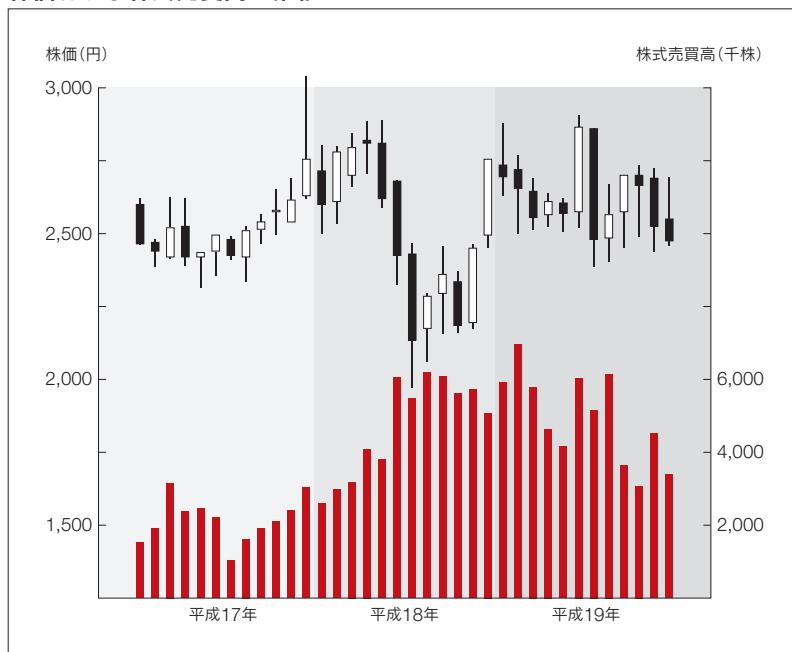
所有者別株式数の状況

	株主数 (名)	所有株式数 (千株)
■ 金融機関	67	15,421
■ 証券会社	32	741
■ その他の法人	479	48,626
■ 外国法人等	274	29,534
■ 個人その他	20,613	11,853
■ 自己株式	1	4,947
	21,466	111,125

〈株式数の構成比〉



株価および株式売買高の推移



株主メモ

株主メモ (平成19年12月31日現在)

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	
・定時株主総会	12月31日
・中間配当	6月30日
・期末配当	12月31日

その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
(〒540-8639)
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 東京都府中市日鋼町1番10
(〒183-8701)
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417

(その他のご照会) ☎0120-176-417

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店

公告掲載方法 電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.ccwh.co.jp/koukoku/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度 (平成19年12月31日現在)

コカ・コーラギフト券1枚で、
500ml PET製品4本と
お引き換えいただけます。



毎年6月30日現在および12月31日現在の100株以上ご所有の株主さまに対し、ご所有株式数に応じて下記のとおり「コカ・コーラギフト券」をそれぞれ同年9月頃および翌年4月頃に贈呈いたします。

「コカ・コーラギフト券」1枚でコカ・コーラ社製品(500ml PET製品(一部の製品を除きます))4本とお引き換えいただけます。

基準日	贈呈基準		優待内容	贈呈時期
	ご所有株式数			
6月30日	100株以上	500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚	同年9月頃
	500株以上	1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚	
	1,000株以上	5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚	
	5,000株以上		コカ・コーラギフト券 12枚	
12月31日	100株以上	500株未満	コカ・コーラギフト券 3枚	翌年4月頃
	500株以上	1,000株未満	コカ・コーラギフト券 4枚	
	1,000株以上	5,000株未満	コカ・コーラギフト券 6枚	
	5,000株以上		コカ・コーラギフト券 12枚	

ホームページのご案内

平成20年4月に当社ホームページをより見やすく、わかりやすく、使いやすい内容へリニューアルいたします。株主・投資家のみなさま向けの情報も充実しております。また、IRニュースメール配信にご登録いただいた方には、サイトの更新、決算発表、ニュースリリースなどのIR情報をタイムリーにお知らせしております。是非ご覧ください。

▶▶▶ <http://www.ccwh.co.jp/>

IRニュース
メール配信の
ご登録は
こちらから



Coca-Cola West

コカ・コーラウエストホールディングス株式会社

〒812-8649 福岡市博多区住吉一丁目2番25号

キャナルシティ・ビジネスセンタービル5階

経営企画グループ IRチーム TEL 092-283-5724

<http://www.ccowh.co.jp/>

